

クラウドツールによるDXに欠かせないiPaaS活用について

クラウドツールはiPaaSで他ツールと連携して便利に使えます。

クラウドツールを導入したが、
思ったより業務効率化されていないと感じる方向け



顧客データが多すぎて、フォローすべき顧客がわかりづらくなったり…

複数のクラウドツールに同じような情報を入力する必要が生じて手間…

クラウドツールへの入力・インポート作業の工数を減らしたい…

クラウドツール内では出来ない計算・場合分け処理がある…

iPaaSは直接API連携できないクラウドツール同士の連携も可能です。

【主なiPaaSツール】

Zapier

IFTTT

Anyflow

iPaaS (Integration Platform as a Service) とは？

iPaaS（アイパース）を活用することで、クラウドとオンプレミスのデータやサービスの連携、クラウド同士の連携がノーコードで可能となり、様々な業務効率化が図れます。

各システム同士で直接API連携できる場合もありますが、そうではない場合には、iPaaSを通して様々なシステム間連携、アプリケーション間連携が可能となります。

システムからシステムへアナログ作業でCSVデータ移行していた過程を自動化できたり、アプリで作成したファイルを他のクラウドサービスのチームフォルダに自動保存できたりと、あらゆる連携が簡単に実現できます。

事例① CRM上で特定の条件を満たしたときチャットツール等に通知



CRM



iPaaS

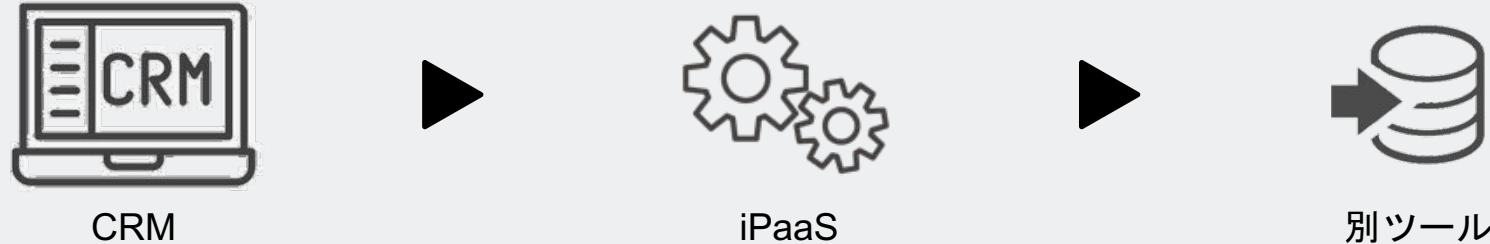
チャット
ツール

○活用イメージ

- ・契約更新が迫っている顧客を通知する。
- ・解約リスクにつながる事象を検知した場合のみアラート。
(例：メールがずっと開封されていないなど)
- ・CRMへの入力忘れを検知して、担当者に通知する。



事例② CRMに入力した内容を別ツールにも同期させる。



○活用イメージ

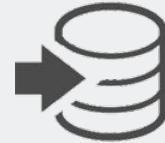
- ・CRMで取引先の基本情報が変更されると、請求書発行システムの取引先情報も自動で変更される。
- ・CRMのダッシュボード機能で対応できないデータをスプレッドシートに自動連携し、シート上でグラフ生成して可視化する。
- ・CRMの情報を会員サイトに連携して、会員ごとにパーソナライズされたコンテンツを表示させる。

The screenshot shows a '請求書' (Invoice) form. At the top right, there is a date '2021年09月03日' and a button '下書き' (Draft). The main form area has several sections:

- 取引先**: A section highlighted with a red box. It includes fields for '名称' (Name), '敬称' (Title), '郵便番号' (Postal Code), '市区町村・番地' (Municipality, Street Address), '建物名・部屋番号など' (Building Name, Room Number), and '部署名、担当者名' (Department Name, Contact Person). The '名称' field contains '123-4567'.
- 書類上の表示**: A section below the customer information.
- 日付**: Date field showing '2021年09月03日'.
- 請求書番号**: Invoice number field showing '1'.

A large black rectangular redaction box covers the bottom right portion of the form.

事例③ 別ツールの情報をCRMに自動でインポートする。



別ツール



iPaaS



CRM

○活用イメージ

- ・ 資料DLサイトからのメールを検知して、メール本文の情報からCRMに新規顧客情報を登録。
- ・ 会員サイト上で会員が自身の登録情報変更をかけた際に、CRMに登録されている基本情報も変更をかける。
- ・ 会計システムで管理されている顧客毎の毎月の請求金額をCRMにも自動連携する。

The screenshot shows a CRM application's contact creation form. At the top, there is an email notification bar with the text "で資料がダウンロードされました。". The main form has fields for "■資料名" (Document Name) and "■ダウンロード会員情報" (Download Member Information). Below these, there are five input fields with labels: "会社名:" (Company Name), "部署名:" (Department), "担当区分:" (Role), "役職:" (Position), and "名前:" (Name). All these fields have their values redacted with black boxes.

事例④ CRMの登録情報を別ツールに連携して、処理後のデータを戻す。



○活用イメージ

- ・CRMから計算に必要な情報をスプレッドシートに連携し、シート上で複雑な計算ロジック（条件分岐、複雑な料金体系など）を処理して、計算結果をCRMに戻す。
- ・CRMのある顧客の情報が変更された際に、関連する顧客の情報も自動で変更する処理がCRM上で実現できない場合に、関連する顧客のIDをスプレッドシート等に連携し、スpreadsheet上で処理を行いCRMに戻す。
- ・CRMと別ツールのいずれかで登録情報の更新がかかった場合に、双方を最新の状態にする。（同期する）



クラウドツール×副業人材で、寄り添うDX。